

指導時期	単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準例	現行学習指導 要領との対応 (*)は本教科 書独自の言語活 動例	新学習指導要 領との対応例 (*)は本教科 書独自の言語活 動例	
4 月	一 言葉を探る	春に	1	●言葉の中の春を読む。	1 「この気もちはなんだろう」という表現の繰り返しに注意して、詩の中の「春」を読む。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩に描かれた思いを自分の心と比べて考えようとしている。 ◇読む能力 ・詩に描かれた思いの内容や表現の効果について自分の考えを述べている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・この詩の中で用いられた表現方法の工夫について理解している。	C (1)ア C (1)ウ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)ウ 思判表C (1)ウ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表C (2)イ	
		【話す聞く】一言でまとめ一言から広げる	1	(●要約や体験談にふさわしい表現のあり方を考える。) (●どのようにすれば効果的に表現できるかを考える。)	1 グループで、一人が最近のできごとを話し、それを聞いた他のメンバーが一言でまとめ、その一言からさらに思い浮かぶ体験を別のメンバーが話す、というような活動を続けていく。	◇国語への関心・意欲・態度 ・話を聞いて、その内容から自分の体験を思い起こして話そうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使ってわかりやすく話している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・慣用句や四字熟語などを用いて一言でまとめる、豊かな語彙をもっている。	A (1)ア A (1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A (2)ア	思判表A (1)ア 思判表A (1)イ 思判表A (1)ウ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表A (2)ア	
		立ってくる春	2	●表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。	1 どのようなところに筆者は「春が立つ」ことを発見しているのかを読む。 2 筆者の発見に対する自分の考えをもち、作品の魅力を味わう。	◇国語への関心・意欲・態度 ・表現に着目しながら、作品の魅力を味わおうとしている。 ◇読む能力 ・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・季節感を表す語句や仮名や漢字の使い分けなどに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	C (1)ア 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)ウ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表C (2)イ	
		漢字の練習 1	—	—	—	—	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)	知技(1)ア
		私	4	●場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	1 物語の中の「市民対応」とはどのようなできごとかを捉え、あらすじをまとめる。 2 役所に来た「女性」は何を問題にしているのかを読み取る。 3 図書館に行った「私」からどのような人物像を読み取ることができるかを考える。 4 場面や登場人物の設定の仕方について、考えたことを話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・意欲をもって作品を読み深め、批評していくなかで、情報としての言葉とその問題に関心をもとうとしている。 ◇読む能力 ・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深めている。 ・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもっている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・言葉の使い分けに注意し、語感を磨き、語彙を豊かにして	C (1)イ C (1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)ア 思判表C (1)エ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表C (2)イ	

	漢字の広場2 熟字訓	1	●熟字訓についての理解を深める。	1 熟字訓についての理解を深め、正しく書き表す。	◇国語への関心・意欲・態度 ・熟字訓について興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・熟字訓の読み方を理解し、正しく使っている。	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	知技(1)イ 知技(1)ア
	言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 言葉(解説) 1 和語・漢語・外来語	1	●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	1 和語・漢語・外来語のもつ印象の違いを考える。それぞれの語種の成り立ちをおさえ、場面に応じた使い分け方について考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・和語・漢語・外来語について興味をもち、それぞれの語種のもつ印象の違いをすすんで考えようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	伝国(1)イ(イ)	知技(1)イ 知技(3)ウ
	無言館の青春	2	●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	1 「無言館」に展示されている絵や添えられた言葉に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめ、話し合いながら理解を深める。 2 自分の読書生活を振り返り、本の紹介をとおして読書に対する関心を広げる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・自分の読書生活を振り返ろうとしている。 ◇読む能力 ・本や文章を読み、自分の考えや知識を広げている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・『無言館の青春』に描かれたさまざまな表現について考えている。	C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ	思判表(1)エ 知技(3)オ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表C(2)ウ
	情報を編集するしかけ	3	●同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。	1 教材文を読み、①と②の画面がどのように使われているかを知り、情報の発信者の意図について理解する。 2 新聞記事を構成する学習とテレビニュースを作成する学習をとおして、情報を編集するしかけへの理解を深める。 3 作成した新聞とテレビニュースについて、自分が選んだ情報と構成を振り返る。	◇国語への関心・意欲・態度 ・情報伝達の手法の違いを理解し、比較しながら読もうとしている。 ◇読む能力 ・論説や報道などを読み比べることをとおして、その表現の仕方などを評価している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・語句に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。	C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ	思判表C(1)ウ 知技(1)イ 知技(2)イ 知技(3)オ ■言語活動例 思判表C(2)ア
7月	言葉の小窓2 慣用句・ことわざ 言葉(解説) 2 慣用句・ことわざ	1	●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	1 慣用句やことわざの例を知ることとおして、自身の言葉を増やしたり言葉に対する興味・関心を深めたりする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・慣用句やことわざなど生活言語に興味・関心をもとうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・慣用句やことわざなどに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。	伝国(1)イ(イ)	知技(1)イ 知技(3)ウ
	文法の小窓1 活用のない付属語 文法(解説) 1 活用のない付属語	2	●付属語の用法を知り、自分で考えてみる。	1 助詞の違いが文の意味に与える影響について知り、助詞の種類と基本的なはたらきについて理解する。 2 それぞれの助詞の特徴と主な用法について理解する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・助詞の違いが文の意味に与える影響などに目を向けようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・助詞のはたらきについて、個々の用例を振り返り、体系的に理解している。	内容の取扱い2 (1)ア (2年 伝国 (1)イ(エ))	内容の取扱い1 (3) (2年 知技 (1)オ)

9月	四 論理を問う	歴史は失われた過去か	3	<ul style="list-style-type: none"> ●「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 ●事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 筆者のいう「記憶」と「知識」の違いを考えながら本文を読み、「歴史の記憶」について理解を深める。 2 筆者の説明の工夫を読み取り、文章の内容理解とどのように関連しているか考える。 3 筆者のいう「歴史と人間の結びつき」について、具体的にはどのようなことか話し合う。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自分の意見をもっている。 ・筆者の主張について、用語の説明を丁寧に理解しつつ、主張の根拠となる事実や事例について、共感、賛成、疑問などの判断を行い、適切に関係づけながら読んでいる。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言葉の使い分けに注意して読み、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(イ)</p> <p>■言語活動例 C(2)イ</p>	<p>思判表C(1)ア 思判表C(1)イ 思判表C(1)ウ 思判表C(1)エ 知技(1)イ</p> <p>■言語活動例 思判表C(2)ア</p>
		文化としての科学技術	5(内、書2)	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者は現代の「科学技術」をどのように捉えているのか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。 ●事例と主張の関係を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 筆者の確信と問題意識は何を根拠に書かれているのかを整理しながら読む。 2 筆者の論理の展開や表現の仕方の工夫を整理しながら読み、自分の考えをまとめる。 3 筆者のいう「科学技術と人間との関係」「科学技術を文化として捉える」に対する自分の考えを話し合い、その考えを深める。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自分の意見をもっている。 ・筆者の主張について、その理由や根拠となる事実や事例について、共感、賛成、疑問などの判断を行い、適切に関係づけながら読んでいる。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを適切に表す言葉や表現に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(イ)</p> <p>■言語活動例 C(2)イ</p>	<p>思判表C(1)ア 思判表C(1)イ 思判表C(1)ウ 思判表C(1)エ 知技(1)イ</p> <p>■言語活動例 思判表C(2)ア</p>
		【書く】 図表などの資料から文章を書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●図表を読み取り、条件をふまえ、意見文を書く。 ●引用の仕方や論理の展開に注意し、文章を書く。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題を確認して、資料を正確に読み取る。 2 構成や字数など、課題に示された条件を踏まえ、意見文を書く。 3 言葉づかいや論理の展開などに注意して、推敲する。 4 文章を読み合い、資料から読み取ったことについて話し合う。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表などから読み取れることをもとに、自分の考えを文章にまとめようとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の引用の仕方や論理の展開に注意して、説得力のある意見文を書いている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表などから読み取ったことを伝える表現の仕方に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにして 	<p>B(1)イ 伝国(1)イ(イ)</p> <p>■言語活動例 B(2)ア</p>	<p>思判表B(1)イ 知技(1)イ 知技(2)イ</p> <p>■言語活動例 思判表B(2)ア</p>
			4	<ol style="list-style-type: none"> 4 内山氏と毛利氏の文章の特徴について書かれた「ここが大事」の段落A・Bに、具体例や解説を加筆・修正しながら詳しく書き直す。 5 二つの文章を比較して読み、これからの時代について、自分の考えを四百字程度で文章にまとめる。 	<p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から「これからの時代」について話題をしぼり、二つの文章を読み比べながら自分の考えをまとめている。 	<p>B(1)ア</p>	<p>思判表B(1)ア</p>	

				4 歌の背景や作者について調べたり、詠まれている情景や自然を想像したりして鑑賞文を書き、書いた文章を交流する。	◇書く能力 ・論理の展開に工夫しながら、説得力のある文章を書いている。	B(1)イ	思判表B(1)イ
	【書く】 和歌の鑑賞文を書く	3	●自分の表現を高めるために、和歌の鑑賞文を書く。 ●より適切な表現を旨とし、文章全体を整える。	1 和歌を読んで、興味をもったことや感じたことを中心にして、鑑賞文を書く。 2 書いた文章を推敲して、文章全体を整える。 3 書いた文章を読み合い、感想をもとに交流する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・自分の表現を高めるために、関心のある和歌を取り上げ、鑑賞文を書こうとしている。 ◇書く能力 ・書いた文章を読み返して、文章全体を整えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・和歌の表現を引用して、古典に関する鑑賞文を書いている。	B(1)ウ 伝国(1)ア(イ) ■言語活動例 (*)	思判表B(1)ウ 知技(3)イ ■言語活動例 (*)
	風景と心情	3	●歴史的背景をふまえて話し合い、情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	1 漢文の基本的なきまりについて復習し、漢詩の基本的なきまりについて学んだあと、『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』を音読する。 2 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』の内容を把握し、歴史的背景を踏まえて作者の心情を考える。 3 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』を、情景や作者の心情とその表現の仕方について批評し、言葉の響きやリズムに注意して暗唱する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。 ◇読む能力 ・漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や作者の心情を理解して、自分の考えを深めている。 ・語句の効果的な使い方、表現上の工夫に注意して読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して暗唱している。	伝国(1)ア(ア) C(1)ア ■言語活動例 C(2)ア	知技(3)ア 思判表C(1)ウ ■言語活動例 思判表C(2)イ
11 月	最後の一句	2	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 『最後の一句』を読み、描かれた人物や状況についての感想を発表し合う。 2 森鷗外の他の作品の紹介文を作成し、感想を交流する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・本の選び方や読み方について考えたり、自分の選んだ本を紹介したりしようとしている。 ◇読む能力 ・近代の名作を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・作品の独特の言葉づかいや語句をとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ	思判表(1)ア 知技(1)イ 知技(1)ウ 知技(3)オ ■言語活動例 思判表C(2)ウ
	漢字の練習4	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	知技(1)ア
	漢字の広場3 異字同訓	1	●異字同訓についての理解を深める。	1 異字同訓について理解し、正しく使うようにする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・異字同訓に興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・異字同訓について理解し、その意味の違いに注意しながら正しく使っている。	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	知技(1)イ 知技(1)ア

近代の俳句	2 (内, 書1)	●言葉の意味を掘り起こして読む。	1 『近代の俳句』で紹介されている俳句から、一句を選び、声に出して読むなどしながら情景を捉え、作者の思いを読み取る。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。 ◇ 読む能力 ・俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・俳句の形式を知り、俳句を声に出して読み、その世界に興味・関心をもって親しんでいる。	C (1)ア C (1)ウ 伝国(1)ア(ア) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)ウ 知技(3)ア ■言語活動例 思判表C (2)イ
			2 「歳時記」を活用して「季語」を決め、実際に俳句を作り、俳句に親しむ句会を行う。	◇ 書く能力 ・互いに作った俳句を読み合い、優れた表現の仕方などを評価し自分の表現に役立てている。	B (1)エ	思判表B (1)オ
初恋	1	●表現上の工夫に注意して、暗唱する。	1 「文語定型詩」の特徴を捉えながら、暗唱することをとおして詩を味わう。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・詩の表現や内容に注意して、文語定型詩の魅力を理解しようとしている。 ◇ 読む能力 ・この詩の特徴が文語定型詩であることを理解している。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・この詩が生まれた歴史的背景について理解し、詩の内容を理解している。	C (1)イ C (1)ウ 伝国(1)ア(ア) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)ア 思判表C (1)ウ 知技(3)ア ■言語活動例 思判表C (2)イ
故郷	7 (内, 書1)	●「私」の抱いた「希望」や社会の中での人間の生き方について考え、自分の意見をもつ。 ●場面や登場人物の設定のされ方、構成や展開に着目し、作品を批評する。	1 小説の全体像をつかむ。作品を五つの場面に分け、それぞれのできごとを時間の順序に従って整理する。 2 「私」と「閩土」との出会いを読み、少年「閩土」が「私」にとって、どのような存在であったのかを考える。 3 「楊おばさん」と(大人になってからの)「閩土」と「私」の関係について読み取る。 4 故郷の人々の姿が、「私」の目にはどのように映っていたのか、読み取ったことや考えたことを話し合う。 5 「私」の中の故郷がどうなっているのかを捉え、「希望」とは何かについて話し合う。 6 『故郷』という小説が何を提起しているのか、読み取ったこと、考えたことを話し合う。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・作品を読んで批評したり文章を書いたりしようとしている。 ◇ 読む能力 ・「私」の抱いた「希望」の内容を理解し、社会の中での人間の生き方を考えている。 ・現在と過去の対比表現に注意して内容を理解し、作品の構成について考えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・言葉の使い方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	C (1)イ C (1)ウ C (1)エ 伝国 (1) イ(イ) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)ア 思判表C (1)イ 思判表C (1)ウ 思判表C (1)エ 知技 (1) イ ■言語活動例 思判表C (2)イ
			7 登場人物の「人物ファイル」を作って、作品が描こうとした人物像を理解する。	◇ 書く能力 ・「人物ファイル」を書くことをとおして、自分の考えを深めている。	B (1)ア	思判表B (1)ア

12月	【書く】 自己PR文を 読み合う	2	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。 ●文章を読み合い、自分の表現に生かす。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 三年間を振り返り、自分の経験から得られたことなどを、構成や表現の仕方に注意して、自己PR文にまとめる。 2 交流カードを活用して、自己PR文を読み合い、自分の文章の参考になる点などを踏まえて清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・三年間の中学校生活を振り返り、自分の経験から得られたことを自己PR文にまとめようとしている。 ◇書く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・自己PR文を読み合い、論理の展開や表現の仕方を評価して、自分の表現に生かしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい語句を選んだり表現を工夫したりして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	B(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 (*)	思判表B(1)オ 知技(1)イ ■言語活動例 (*)
	【話す聞く】 スピーチで学 びを振り返る	2	<ul style="list-style-type: none"> ●経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝える。 ●敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校生活を振り返り、話題を選び、構成を工夫して、自己PRのスピーチの準備をする。 2 模擬面接など、場の状況を設定してスピーチを行う。聞き手の立場になったときは、スピーチを聞いて自分の表現の参考にする。最後に互いのスピーチについて評価し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・時間や場の条件に合わせて言葉を選びながらスピーチをし、自分のよさを伝えようとしている。 ◇話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・三年間の中学校生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や敬語を効果的に使い、説得力のある話をしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	A(1)ア A(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A(2)ア	思判表A(1)ア 思判表A(1)イ 思判表A(1)ウ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表A(2)ア
	漢字の広場4 四字熟語	1	<ul style="list-style-type: none"> ●四字熟語についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 四字熟語について理解し、正しく使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語について興味をもち、理解を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな四字熟語について理解し、正しく使っている。 	伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	知技(1)イ 知技(1)ア
七 1月 対話をひらく	【話す聞く】 課題を解決す るために話し 合う	4	<ul style="list-style-type: none"> ●進行の仕方を工夫して、話し合いを深める。 ●課題の解決に向け、互いの考えを生かし合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会生活の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項を確認する。互いの考えを生かし合うための方法を考える。 3 話し合いを行い、課題の解決のための「提言」をまとめる。 4 話し合いを振り返り、自分の考えや意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。 ◇話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・適切に敬語などを使い、社会生活の中で適切な言葉づかいなどについて理解している。 	A(1)エ 伝国(1)イ(ア) ■言語活動例 A(2)イ	思判表A(1)オ 知技(1)エ 知技(2)ア ■言語活動例 思判表A(2)イ

		【話す聞く】 「対話力」とは何か	1	<p>●説得力のある意見を述べ合い、話し合いを深める。）</p> <p>●互いの考えを生かし合い、課題を解決する。）</p>	<p>1 「対話力」について理解を深め、多数決によらない解決方法を考える。</p> <p>2 模擬国際環境会議を開くために、問題を把握し、必要な資料を収集する。</p> <p>3 グループごとに模擬国際環境会議を開き、対話を進める。</p> <p>4 代表による模擬国際環境会議を傍聴し、実り多い対話にするためには何が必要かを考える。</p> <p>5 模擬国際環境会議での議論の内容を生かし、環境問題の解決策をいくつか見いだす。 (※5時間配当で想定)</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。 <p>◇話す・聞く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、互いの考えを生かし合っている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話力をめぐる語句に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>A(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A(2)イ</p>	<p>思判表A(1)オ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表A(2)イ</p>
		【書く】 自分の作品集をつくる	4	<p>●テーマを決めて、作品集をつくる。</p> <p>●テーマに合った、文章の形態などを選択する。</p>	<p>1 「私の作品集」の作品を選びながら、全体のテーマや構成を考える。</p> <p>2 全体の構成を決め、目次・前書き・後書き・奥付などを書く。</p> <p>3 全体の構成を確認し、表紙を作成して製本する。</p> <p>4 作品集を友達と交換して読み合い、感想を交流する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてさまざまな文章などを集め、作品集を編集しようとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題やテーマなどにそって、さまざまな文章の中から作品を選び、形態などを選択し、構成を工夫して作品集にまとめている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>B(1)ア B(1)イ B(1)ウ B(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 B(2)イ</p>	<p>思判表B(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(1)エ 思判表B(1)オ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表B(2)イ</p>
2月		バースデー・ ガール	2	<p>●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。</p>	<p>1 全文を通読して、あらすじと登場人物の人物像を捉える。</p> <p>2 表現上の特徴を調べる。自分だったら二十歳の誕生日に何を願うか、自由に考えて交流し、紹介し合う。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、自分の感想や考えを他と交流することで読書の楽しみを見いだそうとしている。 ・同じ作家の作品を読み広げたり、テーマで作品を読み広げたりして読書経験を広げようとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の展開や表現の工夫について評価している。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<p>C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ</p>	<p>思判表C(1)オ 知技(1)イ 知技(3)オ ■言語活動例 思判表C(2)ウ</p>
	3月	花を贈る	1	<p>●文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に對して、自分の考えを深める。</p>	<p>1 文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に對して、自分の考えを深める。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「花を贈る」という行為の意義について、筆者の考えを捉えながら、哲学的なものの方や考え方に興味をもとうとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の表現の仕方を評価しながら、筆者が説いていることを捉え、「哲学的」に考えることについて、自分の考えを深めている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な語句の意味を捉え、 	<p>C(1)ウ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ウ</p>	<p>知技(3)オ 思判表C(1)オ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表C(2)ウ</p>

					内容の読み取りに役立させている。		
	自分自身に	1	(●詩を読んで、「自分自身に」に向けた言葉を考える。)	1 詩を読んで、「自分自身に」に向けた言葉を考えてみる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩に表れているものの見方や考え方をとに、自分自身について考えようとしている。 ◇読む能力 ・詩に表れているものの見方や考え方を批評している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・詩の中の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	C(1)エ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア	思判表C(1)エ 知技(1)イ ■言語活動例 思判表C(2)イ

時数合計 90 時間 (内, 話すこと・聞くこと 12 時間, 書くこと 21 時間)

※本表中, 「漢字の練習」の時数や学習活動などについては, 適宜扱う。

※本表中, 「教材目標」欄に () で示してあるものは, 教科書では目標として示していないが, 想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材 (「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「文法3 文の組み立て」「文法4 文法的に考える」「言葉の自習室」) については, 適宜扱う。